

イニストラードに夜が訪れた
終わることのない夜が……

そこは怪物が支配する世界
吸血鬼たちは夜空を舞い

人々は希望を失い
笑顔は消え誰かが疲弊していた

Blessings and good
for the day of most splend
納税を心よりお待ちしております。
We eagerly await your tithes; one bob
from each resident, once a night until the festi
We have even been so generous as to provide
you the bobbles.
祝祭の日まで毎夜血液を1人につき1杯です。
従わない等の愚行の結果どうなるかは
ご理解頂けるかと思ひます
Your eternal tinge.
謹言
Olivia Voldaren,
Unquestioned Lord of Innistrad
イニストラードの絶対君主
オリヴィア・ヴォルダレン

マンガで分かる! Magic Story

『イニストラード：真紅の契り』

監修: Wizards of the Coast
脚本・漫画: Anoa design
監修: Mayuko Wakatsuki
著: K. Arsenault Rivera

アリンたちに
とても状況は
良くなかった

オリヴィアから月銀の鍵と
ひきかえに救い出した
カティルダの体からは
すでに魂が失われていた

時間魔道士でさえ
永遠の夜を打破する
手だてはなかった

月を留める魔法は
古く複雑過ぎる

私一人の
力では……



闇が続く限り人々に
安住はありません

恐らく吸血鬼たちは
10年もすれば人間を
食い尽くしてしまうでしょう



永遠の夜の影響は
人間だけに限った
ことではないはずだ

どういう意味
ですか？



ねえ

それって
冗談よね？



かつて吸血鬼の中に
それを悟った者が
いました

彼に
接触します

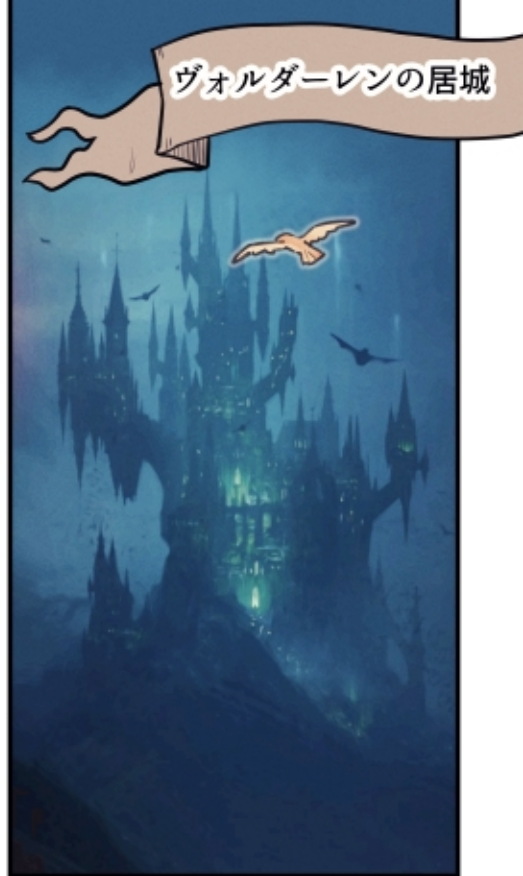
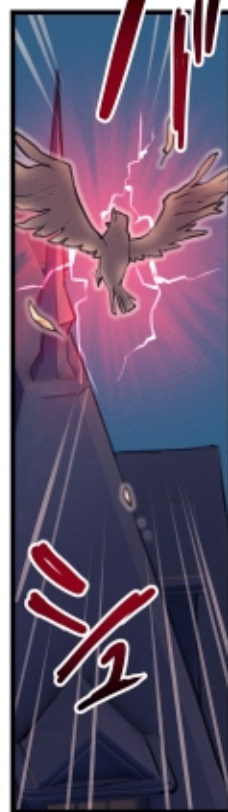


マルコフ邸の
地下へ続く階段

次元すべての人間が死ぬか
怪物に変わるまでは
数か月から……

祖父は長く眠りすぎた
この事態に対する案を
話し合わねば……







あれが
マルコフ家の？

ドレスコードも
守れんとは

岩の中に
いたとか

笑えますな

愚か者の割には
ハンサムね



招待状は？

入っていいわよ



皆様お待ちかねの
誉れ高きソリン・マルコフ殿の
ご到着です！

まあ愛しのソリン

なんて嬉しいこと
時間通りに
来てくれるなんて

イニストラードの最高の女君主
オリヴィア・ヴォルダーレン



あれは祖父の棺

貴様の行いは
狂気の沙汰だ

まあこれは
最も賢い行いですよ

吸血鬼の目覚め
最も危ういとき

オリヴィアの血が
おじい様の心までも
侵食してしまう……



紳士淑女の皆様方
そしてソリン

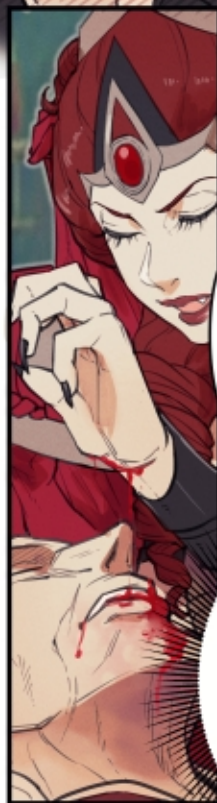
昔から私を知る
唯一の人物

我が美しき
完全無欠の花婿を
紹介致します

麗しき
エドガー・
マルコフ卿

それが今
政略結婚の道具に
されようとしている

おじい様を
失うなど!!



ソリンいい子だ

もうよいのだ
祝いの席を
台無しにするな

全ての吸血鬼の始祖
エドガー・マルコフ



祝いの……席?



おじい様

その女はおじい様を
支配しようとして

さて
メインイベントの前に
小さなお楽しみを用意
させていただきました

パチン

私より新郎への
贈り物です

この匂いは…

飲むのだ

そうすれば
永遠が手に入る

囚われし大天使
シガルダ

あぁなんと
素晴らしい贈り物か

それでは皆様
メインイベントへ
うつりましょう
二方の偉大な婚礼の儀
誓いの言葉です

なぜこのような
バカげた……

“月銀の鍵”
そういうことか……!

お会いしてから
幾星霜が経ちました
今こそ我が夫という
地位を約束しましょう

すべての天使は
オリヴィアの手の内に

共に
イニストラードを
統べるのです

あの女の狙いはそれだ

エドガー
ああ愛しの
エドガー

祖父は古の
血魔術の達人

そして月銀の鍵が
あれば大天使の
血すら支配できる……

ゲッ

ソリン殿
祖父君の同伴を





どうやら

つまらんパーティーは
終わりのようだな



あつ



えっ

結婚式には
ケーキがあるん
じゃないの？

あるん
じゃない？
下僕用とかに



今度は何を
聞きたいの？

ケーキって
あるかな？



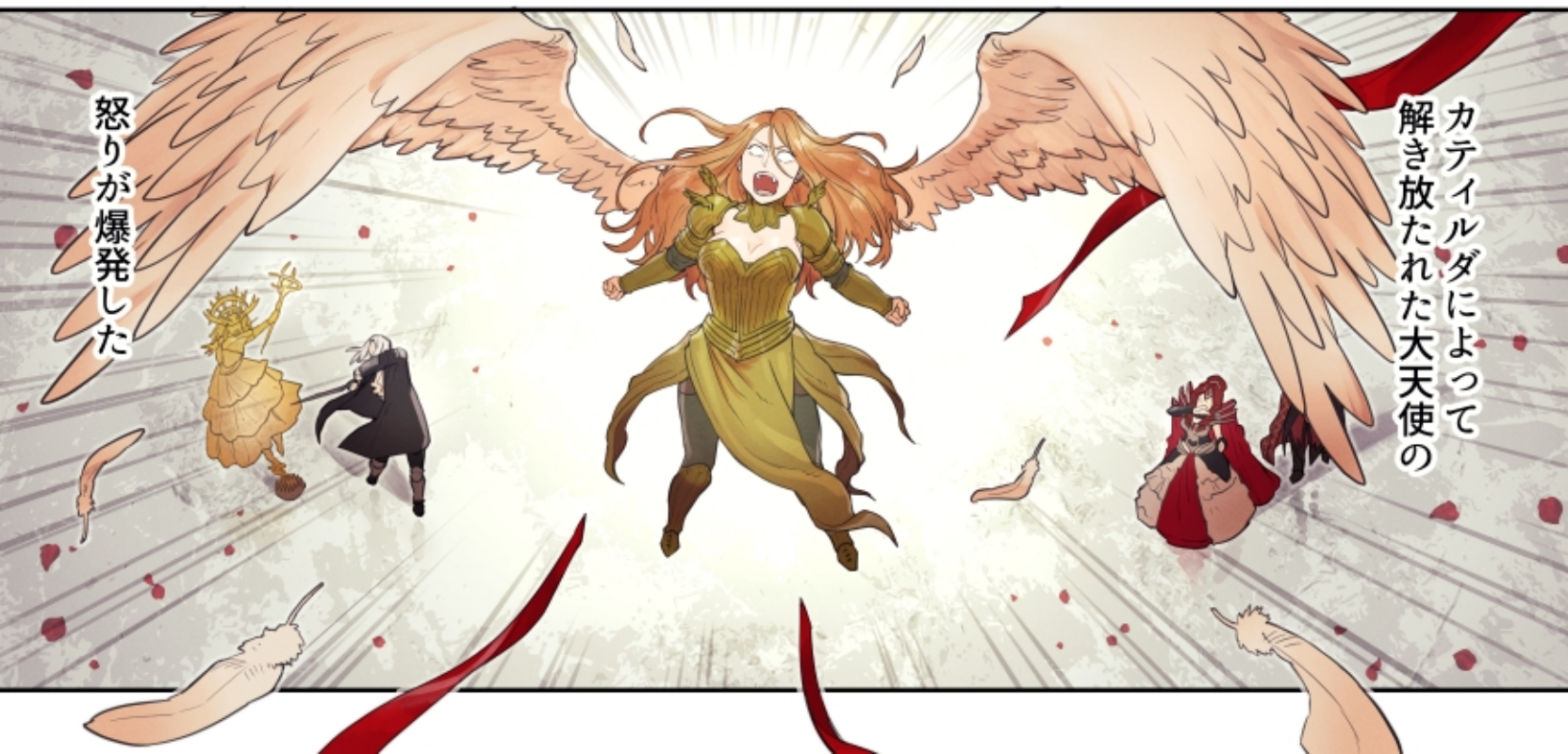
一方城壁では

ねえ



やっとね

私たちの
パーティ
ぶち壊しの
はじまりね



カティルダによって
解き放たれた大天使の

怒りが爆発した

PWたちと共に
聖戦士たちが

一気にだれ込んだ

ケイヤは城内に囚われた
無念の霊に呼びかけ

恐るべき援軍を得た

彼女たちの刃は
城主まで届いた

ギアアアア!!

ここは
私たちが

行って

みんなを
守って

カシヤシ

一方ソリシは祖父を追っていた

何ということだ…

その通りです

馬鹿げていると
おわかりでしょう？
あの女はおじい様を
利用しているだけです

お前にはそのように
見えているとはな

詭弁ですか？

おじい様はもっと
聡明なはずですよ

ガッ

ミヤア

ニッ



礼儀を知るもの
ようではないか



まるで



おじい様マルコフ家の
誇りまで忘れて
しまわれたのですか？



始祖が…

惑わされ家具で
孫に襲いかかるなど…



だが
すべてが呪縛による
言葉でもないだろう…



だというのに
お前は何だ

考えていたよりも
オリヴィアの血は深い

お前にどれほど
与えてきたか



マルコフ家の
者であることを

嫌がってなど
いないよう
ではないか？



お前の
可愛い可愛い
おもちの
兵士のことか？

その玩具が
どうなった？

お前は何も
できなかった



アツアツ
大天使を作り
この次元を護ってきた



私は

私は孤独 ひとり 多くを捧げてきました



何故分からぬ？
心底恥ずかしいわ

お前はまるで
子供だ！
ずっとそうだ



おじい様には
欲深さ以上の
ものが見えていると
思っていました!!

…分かって
下さると
思っていた



イニストラードは
我々のものなのだ

飲むのだ
さすれば永遠が
手に入る

おやめ下さい
そのような…

我々が統べる
それは正当な権利だ

飲むのだ

永遠の
ために

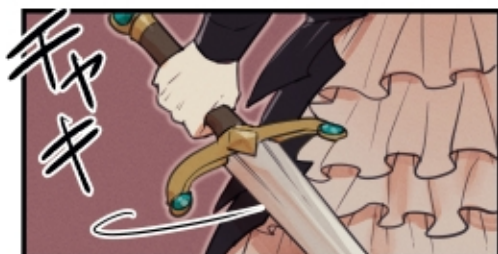


私たちに
鍵を返し
なさい!



何故来たのです

狼女が……



キャキ



お前は

ただ独りで
しょうに



たち?

あなんと
哀れな子犬



食糧を
友だと

人間は
友です



まったく訳がわからないと
言わざるを得ません

人間など可愛い玩具
狼でもそのくらいは
理解できるでしょう?



ところでお前の血は
やはり不味いですね

その姿で勝てると思
うのですか
自らを解き放つて
ごらんなさい……



私は多くの傷を受けてきた



使い捨てで、夢い、権力のために——エドガーによって

また来たのか？

それでも、おじい様のことが大好きだった——何千年もの間

行け

私の前から
消えろ

777

行け

私の前から
消えろ

777

行け

私の前から
消えろ

777

どう思っ
て
いるのかを…

大局を…犠牲を…

そして
貴方が私を

大局を…犠牲を…

そして
貴方が私を



理解している
エドガー

じぶんをきるもの
たったひとりの理解者として………大好きだった



……お前などが



それでも正しい
行いを成して
下さいました

お察しします
辛い決断で
あったでしょう



あんた
大丈夫？

……ああ



感謝する

……いや



狩りの
時間だ

アーリン



アーリン

アーリン



今夜それを
確かめにきた

終わったら
俺を探せ

あなたのやった――

助けてくれたからって
私たちの関係は
変わらないわ……

トヴォラー



なぜここに？

呼んだ
だろう？
助けを



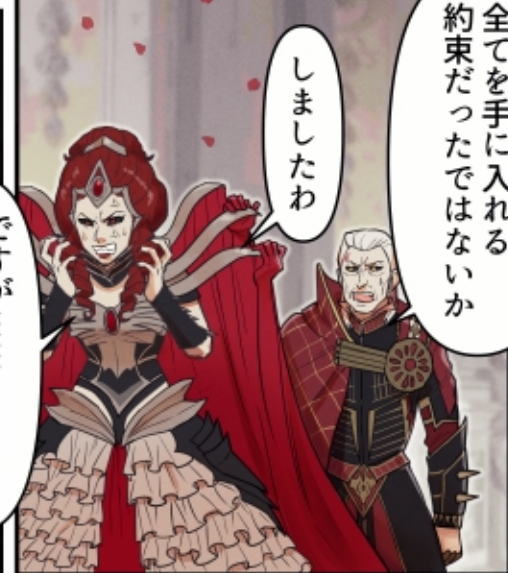
オリヴィア
終わりだ



!?

こんな
ところにまで!?

ですが……
……こんな馬鹿げた



しましたわ

全てを手に入れる
約束だったではないか



ヤッ

コロ

コロ



フン

そのつまらない
月銀の鍵を
もっていきなさい

そんなに大切だ
というのなら



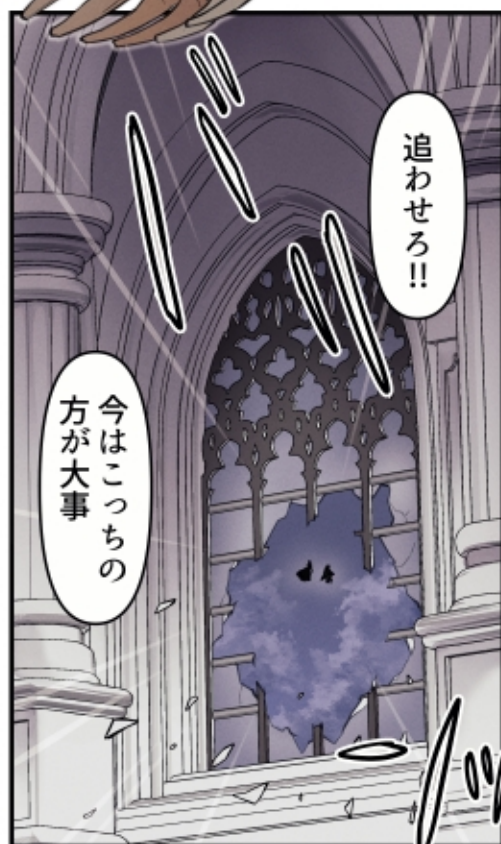
お前が触れてよいのは
私が許可した時のみです



何故だ?

私の方法に疑問が
あるなら後で探して

私と群れで
相手をするから



追わせろ!!

今はこっちの
方が大事



ケル

サッ

戦いは終わった

あとは戻って
セレスタスを
起動するだけだった

ソリンはステンシアに残った

処理すべき
物事がある

死者や負傷者の世話をするのだと
高度な医学書を自分は扱える
そう強調して

償わせる？

命に見合う貨幣があるか？
お前は獣をまとう人間だが
あれは獣そのものだ

全てを終えたら
あの男を追
償わせます

どうする
つもりなのだ？

ガラ
ガラ

ガラ...

ハカラッ
ハカラッ

ガラッ
ガラッ...

あの虐殺は決して
許されません
けれど彼は言うでしょう
人間はもつと狼を殺してきたと

人狼も人間も変わらねば
ならないと思います
両方が力を合わせたからこそ
今回の勝利がありました

もつと協力しあえば
もつと理解しあえば
戦う必要なんてなくなる
それを分かってほしいと
思っています

……助言しよう
あの男はお前の期待に
応えもするが同じく
裏切りもするだろう

いつの日かそれを
押し量らずには
いられぬ時が来る...

ええ心して
おきます

ブッブッブッ...

カティルダは
自らの肉体へと戻り

セレスタスも
無事起動された

そして月銀の鍵を
テフエリーが借り受けた

これには相当数の
時間に関する
面白い特性がある

次に使う
千年後までに
返すんですよ

ああ
狼からは決して
逃げないさ

会えて良かったよ
アーリンさん

私です

.....
悪い知らせ
でも？

そうかもしれない
厄介事が持ち上がった
古い古い厄介事が
グアイレクシアと
いう名の脅威だ

もし奇妙な黒い油か
肉体と機械がまじりあつた
存在を見たら知らせしてほしい
イニストラードにその兆候が
見られなくて本当に良かった
月銀の鍵を役立たせてもらおうと思う

そしてゲートウォッチは
帰っていった

イニストラードに
朝日が昇った

いつもと同じ朝日が

その光が

アーリンと群れ仲間を
照らし続けた

END

ビュウ